

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第3区分

【発行日】令和2年2月13日(2020.2.13)

【公開番号】特開2018-122395(P2018-122395A)

【公開日】平成30年8月9日(2018.8.9)

【年通号数】公開・登録公報2018-030

【出願番号】特願2017-16225(P2017-16225)

【国際特許分類】

B 24 B 9/14 (2006.01)

【F I】

B 24 B 9/14 A

B 24 B 9/14 E

【手続補正書】

【提出日】令和1年12月24日(2019.12.24)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

眼鏡レンズ加工装置であって、
レンズを鏡面加工する鏡面加工工具と、
前記眼鏡レンズ加工装置の制御を司る制御部と、
を備え、
前記制御部は、
眼鏡フレームのリムに前記レンズを嵌めるためのヤゲンを含む前記レンズのコバ部のうち、前記リムに接触する接触領域に前記鏡面加工工具によって鏡面加工を行うことを特徴とする眼鏡レンズ加工装置。

【請求項2】

請求項1に記載の眼鏡レンズ加工装置であって、
前記制御部は、
前記コバ部のうち前記リムに接触しない非接触領域を不透明とする特徴とする眼鏡レンズ加工装置。

【請求項3】

請求項1または2に記載の眼鏡レンズ加工装置であって、
前記制御部は、
前記レンズが嵌められる前記眼鏡フレーム、および、前記レンズの前記コバ部の少なくともいすれかの情報を取得し、
取得した情報に応じて、前記コバ部において鏡面加工を行う鏡面加工領域を設定することを特徴とする眼鏡レンズ加工装置。

【請求項4】

請求項3に記載の眼鏡レンズ加工装置であって、
前記制御部は、
前記レンズが嵌められる前記眼鏡フレームの種類の情報を取得し、
取得した前記眼鏡フレームの種類の情報に応じて前記鏡面加工領域を設定することを特徴とする眼鏡レンズ加工装置。

【請求項5】

レンズを鏡面加工する鏡面加工工具を備えた眼鏡レンズ加工装置で実行される加工制御プログラムであって、

前記眼鏡レンズ加工装置の制御部によって実行されることで、

眼鏡フレームのリムに前記レンズを嵌めるためのヤゲンを含む前記レンズのコバ部のうち、前記リムに接触する接触領域に前記鏡面加工工具によって鏡面加工を行う加工ステップを前記眼鏡レンズ加工装置に実行させることを特徴とする加工制御プログラム。

—